

「特定利用空港・港湾」の概要

函館空港・函館港が候補となっており、国と協議を進めております。

「特定利用空港・港湾」の目的等

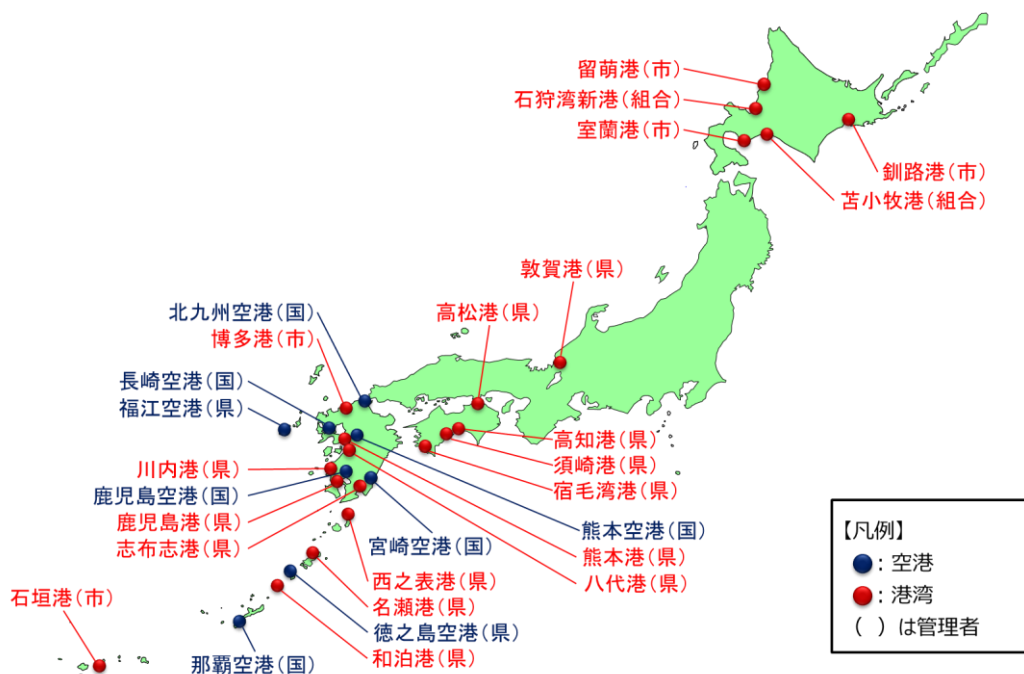
- ① この取組では、平素において自衛隊・海上保安庁が円滑に空港・港湾を利用できるよう、施設管理者との間で意見交換等を行う枠組みを設けます。
- ② その上で、国民保護への対応や自然災害発生時等において、自衛隊・海上保安庁が円滑に対応できるよう、平素から空港や港湾を利用した訓練を行います。
- ③ 訓練を行うにあたって、民間の利用を妨げることはありません。
- ④ 民間の利用のほか、自衛隊・海上保安庁も円滑に利用できるように施設整備を行います。なお、あくまで民間の利用を主とした整備であり、自衛隊の基地等を整備するものではありません。

「特定利用空港・港湾」に指定されると

- ① 空港や港湾は、それぞれ異なる特性があることから、平素から訓練を実施し、特性を習熟することで、効率的な救助活動等を行うことができます。
- ② 空港の浸水対策や港湾の岸壁整備など通常の利用のほか、自衛隊・海上保安庁の利用にも資する整備が行われ、施設の強靱化が図られます。

「特定利用空港・港湾」の指定状況

令和6年8月26日現在、全国で「8空港・20港湾」が指定を受けております。



■問い合わせ 〒040-8666 函館市東雲町4番13号
函館市港湾空港部港湾課
TEL：21-3489 FAX：26-2656

詳しくはHPを
ご覧ください。



函館における特定利用空港・港湾 Q & A

Q1 なぜ、函館空港・函館港が対象候補となっているのか？

A 近傍に自衛隊の部隊が所在することや施設の整備状況等も踏まえ、厳しい安全保障環境への対応を実効的に行う観点から選定されています。

Q2 「特定利用空港・港湾」となることで、自衛隊による訓練が増えるのではないのか？

A 函館港における訓練については、年数回程度を想定しています。
また、函館空港については、これまでも訓練で使用してきており、今後もこれまでと同様の利用を想定しています。

Q3 函館空港において、戦闘機による訓練がされるのか？

A これまでも行っている救難ヘリコプターの離着陸訓練や物資の輸送等の訓練を想定しており、現時点で戦闘機による訓練の具体的な計画はありません。
なお、訓練の実施にあたっては騒音等周辺住民に配慮して取り組みます。

Q4 「特定利用空港・港湾」となることにより、攻撃目標となるのではないのか？

A 「特定利用空港・港湾」は、あくまでも平素における自衛隊・海上保安庁の円滑な利用が目的であり、自衛隊の基地等を設置するものではないため、「特定利用空港・港湾」となることで攻撃目標とみなされる可能性が高まるものではありません。

Q5 「特定利用空港・港湾」になることで、有事の際に利用されることになるのではないのか？

A 武力攻撃事態のような有事の際には、この取り組みではなく、特定公共施設利用法等に基づき施設を利用します。

Q6 米軍も利用することになるのか？

A この枠組みは、国と施設管理者の間で設けられるものであり、米軍が参加することはありません。